

Optisolis™ が日本国内で初めて 「大塚国際美術館」に導入されました



「白貂を抱く貴婦人」

左：「白貂を抱く貴婦人」 右：「モナ・リザ」

画像提供：大塚国際美術館

導入商品：Optisolis（オプティソリス）

当社が長年培ってきた青色 LED と蛍光体の技術が存分に活かされた未来型白色 LED。太陽光に極めて近い分光分布を実現したことにより、照らされるものの色合いを自然に再現。UV（紫外線）光がほぼ含まれていないため、光が作品へ与える損傷影響を低く抑えることができます。『Optisolis』で照らすことにより、作者が作品に込めた想いが自然で細やかな色合い・表現とともに浮き上がり、作品本来の魅力を体感いただけると考えております。

商品詳細はこちら https://led-ld.nichia.co.jp/jp/product/lighting_optisolis.html

導入場所：大塚国際美術館

徳島県鳴門市にある日本最大級の常設展示スペース（延床面積 29,412 平米）を有する「陶板名画美術館」。古代壁画から、世界 26 ヶ国、190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで至宝の西洋名画 1,000 余点をオリジナル作品と同じ大きさに再現し、展示。原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができ、日本に居ながらにして世界の美術館が体験できます。

美術館詳細はこちら <https://o-museum.or.jp/>